



エコドライブに取り組んでみませんか

県では今年度から、環境GS認定事業者のエコドライブを支援するため、エコドライブ支援装置ECO-SAMの貸し出しを行っています。

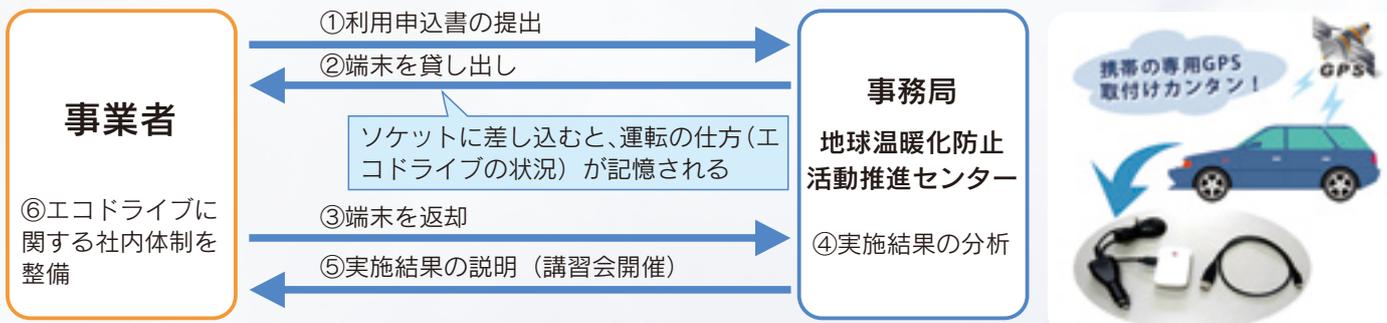
ECO-SAM本体を自動車のソケットに差し込むと、GPSの位置管理システムにより運転の仕方が記憶され、専用ソフトで運転状況を解析できます。解析結果が記載された運転レポートでは、どのような運転を行ったか、どのように改善すべきかが確認できます。

貸出しを希望される方は「群馬県エコドライブ支援装置利用申請書」(環境GS認定制度ホームページからダウンロードできます)を群馬県地球温暖化防止活動推進センターへ送付してください。

※エコドライブ支援装置は数に限りがあるため、貸出台数および貸出期間を調整させていただく場合があります。

※エコドライブ支援装置の記録可能時間は最大約60時間です。(約1週間程度)

※貸出期間は、貸出日・返却日を含め2週間以内です。



【ECO-SAM使用時のポイント】

- ・ECO-SAMは運転の仕方を評価するシステムであるため、使用しただけで燃費が向上するわけではありません。ECO-SAMによる評価を受け、運転の仕方を改善していくことが大切です。
- ・同じ人が運転する同じ自動車に長期間ECO-SAMを取り付けるより、人や自動車を変えて計測することをおすすめします。1人あたり約50kmの運転を計測すればその人の運転の傾向がわかります。
- ・日々の燃費を把握しておくことが大切です。(ECO-SAMでは燃費の把握は出来ません。)ECO-SAMによる分析結果を受け、運転方法を改善したとしても、改善前の燃費を把握していないと改善状況がわかりません。燃費を把握している自動車にECO-SAMを取り付けると有効利用できます。



広告

水質検査・ボイラー測定・貯水筒清掃・害虫駆除

株式会社 エコセンター

TEL0279-68-5013

本社：群馬県吾妻郡東吾妻町大字岩井963-1
<http://www6.plala.or.jp/eco-c/>

きりしん復興応援定期積金
しんきんの絆

募集総額の0.20%相当を、信金中央金庫が東日本大震災の復興支援機関に寄付します。寄付に係るお客様の負担はございません。

契約期間：5年
 毎月の掛金：10,000円以上
 取扱期間：平成27年10月30日(金)まで

ホームバンク きりしん
桐生信用金庫
 きりしん 検索

© K・TSUKUDA+GREEN CAMEL

※広告内容については、直接広告スポンサーへお問い合わせください。

※広告掲載を希望する方は、県庁環境エネルギー課 (TEL:027-226-2817) へお問い合わせください。

ワンポイント アドバイス

ONE POINT
ADVICE

環境GS 推進員



今回は、
箱田 勝彦さん
からのアドバイスです。

目標達成に問題解決法を生かす

環境GS認定制度では、環境目標を設定し目標達成に向けて対策を推進し、経過をフォローして行きますが、この目標管理の方法は、会社の経営に大変役立つ方法で、ドラッカーが考えた管理方法です。

しかし、多くの会社で、会社年度改革目標や環境目標の設定に行き詰まり、目標の設定が出来ず、又目標が設定できても、目標を達成出来ない例が起きています。そこで、この二つの問題の対策案を提案します。

1. 目標設定に困った場合

①会社の重要問題について年度改革目標を設定する。

当初の、ゴミ削減、電気量削減、ガソリン削減等の環境目標設定では、次第に経営に寄与する目標にならず、経営者や管理者がやる気を失います。従って、会社の重要問題について目標設定する事が重要です。

会社のQ（品質・業務の質）、C（コスト）、D（生産高・納期）の中で困っている、一番重要な問題を選び目標を設定します。例えば、品質問題に悩んでいれば、品質不良削減を目標に設定します。原価上昇に悩んでいれば、原価中の人件費、材料費、エネルギー費等について目標を設定します。会社全体の年度改革目標（環境目標より上位の目標）としては、売上高30%向上等の目標も有効だと思います。即ち、経営者は、会社の生き残りをかけた課題解決のために年度改革目標を設定し、各部署にこの目標を展開し、各部署は毎月、目標達成に向けた対策を実行し、目標未達ならば対策を見直す必要があります。

2. 目標が達成できない場合

重要問題について、下記の現状把握及び分析（原因追究）等の手順を行う、「問題解決の手順」を活用する事が重要だと思います。多くの会社で、この手順を活用せず問題について、思いつく対策を直ぐ実行して効果が出せない例を見聞しています。

①現状把握を十分行う。

問題について、層別で問題をブレイクダウン（分解）し、攻撃対象を見つけます。
データ（記録）や3現主義（現場・現物・現実）に基づき十分行う事が大切です。

②具体的な目標を設定する

達成目標は具体的に数値で示します。

③分析して真の原因を明確にする。

攻撃対象の真の原因を、なぜなぜ5回や特性要因図、実験等で追究し明確にします。

④対策案を検討し実施する。

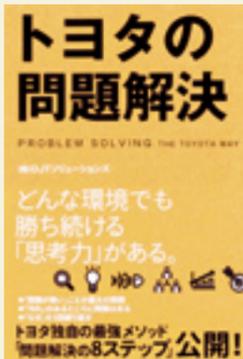
真の原因に対する対策案を考え、評価し、効果的な対策案を実施します。

⑤効果を確認する。

対策を実施した結果、目標を達成できたかチェックします。

この問題解決の手順については、多くの会社で活用され問題解決に役立っており、又、「トヨタの問題解決」(株式会社OJTソリューションズ, 中経出版) という著書が出版されていますので、参考にして頂きたいと思います。

是非、皆さんの会社においても、会社や職場の重要問題について、この手順を活用し、会社改革目標・環境目標を達成し、利益向上を図って頂きたいと思えます。



グリーン購入をはじめましょう

○グリーン購入とは

グリーン購入とは、環境への負荷が少ないものを意識して購入することです。資源を有効に活用し循環を基調とした社会を構築するためには、いわゆる「グリーン購入」を推進し、需要面から環境物品等の市場拡大を促進することが必要です。

グリーン購入法（国等による環境物品等の調達に関する法律）第5条においては、事業者及び国民の責務として「できる限り環境物品等を選択するよう努めるものとする」と、可能な範囲でグリーン購入に取り組むことを定めています。

グリーン購入に取り組むことで、使用時のエネルギーや資源の消費を低減し、廃棄物の発生を抑えるなど、組織の環境負荷低減を進めることができます。さらに、オフィスでの身近なグリーン購入は、社員・職員の環境意識を高め、他の環境への取り組みに波及することも期待できます。



○グリーン購入を実践する

グリーン購入を行う際に参考になるのが以下のエコマークです。



エコマークは、公益財団法人日本環境協会が審査・認証するマークです。製品の生産から廃棄にわたるライフサイクル（資源採取→製造→流通→使用→廃棄）全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた、グリーン購入法に適合している製品等につけられています。

エコマーク認定は多岐に渡っており、文房具・建築資材をはじめ、エコマーク認定のスーパーマーケットもあります。

また、エコマーク以外にも、品目によって様々なマークがあります。例えば、「国際エネルギースターマーク」（経済産業省運営）は、稼働時やスリープ・オフ時の消費電力の基準を満たすパソコン等のOA機器につけられます。「グリーンマーク」（公益財団法人古紙再生促進センター運営）は、トイレトーパー、ノート、OA用紙など、古紙を製品毎の規定の割合以上利用した製品につけられるマークです。こうした環境ラベルの詳細については、下記環境省ホームページで確認することができます。

※環境省ホームページ「環境ラベル等データベース」<https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/>

○グリーン購入の4原則

グリーン購入を推進する企業、団体等で構成するグリーン購入ネットワークでは、以下のグリーン購入基本原則を定めています。製品・サービスを購入する際には以下の原則をふまえてグリーン購入に取り組んでみてはいかがでしょうか。

原則1 必要性の考慮	購入する前にその必要性を考え、今使っているものがまだ使えないか、購入量を削減できないか、ということも同時に考えます。
原則2 製品・サービスのライフサイクルの考慮	製品ライフサイクル（資源採取→製造→流通→使用→廃棄）のある段階で環境負荷が小さくても、別の段階で負荷が大きくなっていることがあります。よって製品ライフサイクル全体を考慮する必要があります。
原則3 事業者の取り組みの考慮	購入する製品等に関する環境負荷を考慮することに加え、製品を設計・製造・販売している事業者が環境に関する法規制等を遵守し環境負荷低減に積極的に取り組んでいるかどうかを考慮します。
原則4 環境情報の入手・活用	製品へのラベル表示、カタログ、ホームページなどから環境情報を入手し、活用していくことが大切です。

なお、下記グリーン購入ネットワークのホームページにて、グリーン購入法に適合した製品を検索することができます。参考にしてください。

※グリーン購入ネットワークホームページ「グリーン購入法適合品かんたん検索」
<http://www.gpn.jp/econet/g-law/index.html>

【出典】「ひろげよう、グリーン購入」（グリーン購入ネットワーク）
グリーン購入ネットワークホームページ
公益財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局ホームページ

環境GS認定制度が10周年を迎えました



環境GS認定制度は、地球温暖化防止に配慮した事業活動の普及を図ることを目的として平成18年度にスタートしました。これまで県内の様々な業種、規模の事業者が環境GS認定事業者として認定されており、その数は平成26年度末現在で2040事業者となっています。



10周年を迎え、平成18年度に認定を受けた事業者の皆様は継続10年目となりました。10年間に渡り、温室効果ガスを持続的に削減する環境マネジメント活動を行っていただき、ありがとうございました。今後とも環境GS認定制度を活用し「環境と経済の両立」という考え方のもと地球温暖化防止活動に取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。

◇継続10年目を迎えた環境GS認定事業者の皆様 220事業者

株式会社佐藤商店
 ワイルカンパニー株式会社
 株式会社町田工業
 芝浦梱包運輸株式会社
 ソークケミカル株式会社
 赤城鉱油株式会社
 上毛資源株式会社
 株式会社群成舎
 株式会社ミツバ 赤城工場
 株式会社ミツバ 新里工場
 株式会社ミツバ 鬼石工場
 株式会社ミツバ 利根工場
 株式会社サンユー広沢工場
 株式会社サンユー本社 相生工場
 株式会社落合製作所
 株式会社モミモ
 株式会社大嶋電機製作所
 株式会社東葉電機製作所
 東日本ダイカスト工業株式会社
 三洋電機株式会社
 太陽誘電ケミカルテクノロジ株式会社 本社工場
 株式会社林環境
 太陽誘電株式会社 八幡原工場
 太陽誘電テクノソリューションズ株式会社
 栄伸工業株式会社
 太陽誘電株式会社 榛名工場
 太陽誘電株式会社 中之条工場
 太陽ケミカルテクノロジ株式会社 藤岡工場
 群馬石積協同組合
 有限会社おぎいち商店
 中藤商店
 株式会社山極
 青鹿商店
 大石商店
 株式会社中太商店
 株式会社ナカシゲ
 有限会社松橋商店
 有限会社小又商店

田畑建設株式会社
 東邦亜鉛株式会社 安中製錬所
 吾妻環境株式会社
 インターワイヤード株式会社 桐生工場
 株式会社鴉商
 金田運輸株式会社
 共和産業株式会社
 株式会社環境管理センター
 株式会社ミツバ環境分析リサーチ
 有限会社ニイサトエコー
 三立応用化工株式会社
 株式会社環境保全センター 安中支店
 一般社団法人群馬県トラック協会
 サンデン電装株式会社
 株式会社群桐産業
 富士重工業株式会社 群馬製作所
 株式会社環境科学コーポレーション
 東京電力株式会社群馬総支社
 東京電力株式会社群馬支店 渋川支社
 東京電力株式会社群馬支店 太田支社
 東京電力株式会社群馬支店 高崎支社
 生活協同組合コープぐんま
 生活協同組合コープぐんま本部管理棟
 生活協同組合コープぐんま宮子店
 生活協同組合コープぐんま細井店
 生活協同組合コープぐんま東久方店
 生活協同組合コープぐんま寺尾店
 生活協同組合コープぐんま中野店
 生活協同組合コープぐんま藤岡店
 生活協同組合コープぐんま昭和店
 生活協同組合コープぐんま新井店
 生活協同組合コープぐんま北部センター
 生活協同組合コープぐんま桐生センター
 生活協同組合コープぐんま高崎センター
 生活協同組合コープぐんま沼田センター
 生活協同組合コープぐんま太田センター
 生活協同組合コープぐんま前橋センター
 生活協同組合コープぐんま藤岡センター

生活協同組合コープぐんま富岡センター
 株式会社ヤマト
 地域計画株式会社
 有限会社環境リブテック
 中西工業株式会社
 有限会社斉田商事
 永田紙業株式会社前橋中央事業所
 田中商会
 株式会社モギメタル
 有限会社早瀬商事
 村上産業株式会社
 株式会社東和銀行
 株式会社インフォマテックヨシヤ
 株式会社吾妻水質管理センター
 群馬県森林組合連合会
 板倉町商工会
 太陽コンクリート工業株式会社
 プロファ設計株式会社
 サンデンシステムエンジニアリング株式会社
 株式会社丸越
 株式会社片桐商店
 合名会社塚田商店
 株式会社荒牧
 東京ガス株式会社 群馬支社
 株式会社高特
 朝日印刷工業株式会社
 サンワアルテック株式会社
 三和コーテックス株式会社
 ニチレイ設備株式会社
 株式会社都市センター
 株式会社六本木工務店
 伸高設備工業株式会社
 星野管工株式会社
 三和水工株式会社
 小倉設備興業株式会社
 有限会社エムアイ水研
 佐波新田清掃株式会社
 有限会社清流設備工業

株式会社トーカイ
 春山設備工業株式会社
 株式会社尾島町清掃社
 有限会社渋川衛生社
 新開設備工業株式会社
 染谷工業株式会社
 有限会社井田工業
 株式会社倭組
 根本設備株式会社
 株式会社都市環境センター
 株式会社日本産業
 有限会社吉井清掃
 井川設備株式会社
 有限会社群馬県浄化槽維持管理安中松井田センター
 富沢設備株式会社
 宮崎工務店株式会社
 株式会社真庭住設
 反町工業株式会社
 株式会社クワバラ
 株式会社小川設備
 有限会社山鬚衛生社
 有限会社小菅水道
 利根衛生設備株式会社
 白沢設備株式会社
 有限会社利根沼田浄化槽維持管理センター
 吉澤工業株式会社
 株式会社アリマ設備工業
 サンワプレジジョン株式会社
 有限会社渡部水道設備
 安中運輸株式会社
 唐澤化学工業株式会社
 太陽誘電株式会社 R & Dセンター
 大栄産業株式会社
 有限会社環境サポート
 有限会社関根商事
 新和鋼業株式会社
 株式会社新進
 前橋運輸株式会社

稲村建設株式会社
 株式会社コグレ
 株式会社ボルテックスセイグン
 株式会社サンワ
 大杉運輸倉庫株式会社
 有限会社北爪製作所
 三富運送株式会社
 株式会社ジュンコーポレイション
 新町運送有限会社
 松浦運送有限会社
 協同貨物自動車株式会社高崎営業所
 みどり運送有限会社
 高陽運輸株式会社
 花澤運輸倉庫株式会社
 群馬小型運送株式会社
 株式会社エスティビー
 株式会社群電
 茂原建設株式会社
 株式会社金井工事
 株式会社プロ・シード
 市川建設株式会社
 株式会社吉田商事
 桐生信用金庫本店
 針谷化成株式会社
 石川建設株式会社
 株式会社ログ
 株式会社カネダ 群馬工場
 守屋建設株式会社
 荒木土木株式会社
 東群運送株式会社 桐生本社
 太田運輸株式会社
 堀越運輸株式会社
 中山運送株式会社
 株式会社三蔵
 大島倉庫運輸有限会社
 上電通運株式会社
 株式会社 新鮮便
 株式会社萬場

株式会社神田運送店
 群馬くみあい運輸株式会社
 月夜野運送株式会社
 株式会社丸城
 株式会社アドバンティク・レヒュース
 環境ワークス株式会社
 株式会社NTT東日本-関信越 群馬支店
 光山電気工業株式会社
 土田商店
 有限会社高橋木材
 三共運送株式会社
 芝浦運輸機工株式会社高崎営業所
 池上通運株式会社
 有限会社フレンズ運送
 前橋倉庫株式会社
 新日本陸送株式会社 高崎営業所
 株式会社たくゆう
 上州貨物自動車株式会社
 青木運輸倉庫株式会社 妙義営業所
 青木運輸倉庫株式会社 玉村営業所
 青木運輸倉庫株式会社 桐生営業所
 吾妻通運株式会社
 永井運輸株式会社
 株式会社正田製作所
 株式会社木島製作所
 株式会社環境技研
 群馬合金株式会社
 株式会社金豊
 シャディサラダ館さくら通り店
 株式会社アステック

※企業名の記載は登録順

※環境GS認定10年目以上の事業者様がご利用いただけるロゴマークを作成しました。ご利用をご希望の方は県ホームページ掲載の様式により申請してください。

GS事業者の横顔

大栄産業株式会社



認定番号 231600
住 所 前橋市下大島町154-1
電話番号 027-289-8181
従業員数 20名
事業内容 建造物解体工事業、産業廃棄物収集運搬業
(群馬県知事21356、群馬県01000129858)

代表者 代表取締役 戸塚 和昭
GSマネージャー 星田 直人
GSサブマネージャー 戸塚 とし子
GSサブマネージャー 須藤 誠

わが社の一押し

弊社は「私たちの地球環境にやさしい循環調和型社会の構築」をスローガンに、建造物総合解体工事、産業廃棄物収集運搬業を中心とした事業活動に関連する全ての法令を遵守し、また環境への負荷低減を継続的に実践することが、企業としての社会貢献と考えこれを実行しています。昨年からの太陽光発電などの温暖化対策にも力を入れております。

現場からひとこと

環境GS認定と共に、エコアクション21の認定も取得しています。取り組みとして事務所及び外照明をLEDに替え、事務書類のペーパーレス化、室内温度の適正化、全トラックにドライブレコーダーを搭載し、定期的に安全運転に基づいたエコ運転の実施についての話し合いを行っております。今後も日々の環境に配慮した活動の更なる意識向上を目指し取り組んで参ります。

川島工業株式会社



認定番号 231498
住 所 館林市近藤町657-3
電話番号 0276-72-5019
従業員数 28名
事業内容 精密機械加工部品の製造、組立
代表者 代表取締役 川島敏明
GSマネージャー 川島敏明
GSサブマネージャー 川島美則
GSサブマネージャー 川島宗隆

わが社の一押し

当社は、半導体製造装置、情報通信機器、医療機器の部品製造及び組立て等を行っております。多品種少量、試作、精密切削加工を得意としており、変化の激しい業界において、あらゆる状況に対応できる匠の集団です。蓄積された技術力と軽快なフットワークで新時代を切り開きます。

現場からひとこと

当社では、5年前に環境GS及びエコアクション21を取得しました。未来の子もたちにより良い地球環境を引き継ぐため、すべての従業員が環境保全及びCO₂排出量削減に積極的に取り組んでいます。今後も、豊かな自然環境との共生・調和を目指し、人と地球の未来を考え、歩み続けていきます。

岩井建設株式会社



認定番号 231804
住 所 富岡市神農原70-2
電話番号 0274-63-6527
従業員数 107名
事業内容 土木工事、建築工事、生コン製造販売、再生砕石販売
代表者 代表取締役 岩井 重夫
GSマネージャー 岩井 勇次
GSサブマネージャー 工藤 寛之

わが社の一押し

当社は、60年以上にわたって街のインフラ整備（道路、橋、ダム、トンネル、学校、病院、公共施設、各種建築物等の建設）を担い、地域社会をみつめてきました。その街に人々が生活する限り、街を整備し、それを維持し続けることは必要不可欠です。当社はこうしたインフラ整備や維持・メンテナンスも大切な事業として、街を未来へつなげていく役割を果たすべく日々邁進しております。

現場からひとこと

環境GS・エコアクション21認証を得て、社員の環境に対する認識も高くなり一人一人が環境活動の高い意識を持って取り組んでいます。また、当社単体ではなく現場等においても協力会社の方々に周知して頂き、活動の幅を広げている現状であります。主な活動内容として・・・
エコドライブの推進、ごみの分別並びにリサイクル、各事業所の節電・節水等

鈴木建設株式会社



認定番号 241878
住 所 高崎市吉井町岩崎2640
電話番号 027-388-2168
従業員数 16名
事業内容 一般土木工事・上下水道工事・舗装工事・造園緑化工事・しゅんせつ工事・建築工事
産業廃棄物収集運搬許可 (01000019453)

代表者 代表取締役 鈴木 泰
GSマネージャー 堤 孝一
GSサブマネージャー 中澤 一
GSサブマネージャー 鈴木 由香里

わが社の一押し

環境に配慮し、汚染の予防に努め、環境側面に関連した法令及びその他の当社が同意した要求事項を順守し、継続的に改善に努めています。

本社屋全室、窓ガラスに省エネフィルム施工完備やLEDへの交換など環境に配慮した取り組みを行っております。

現場からひとこと

当社は、防犯・防災・省エネフィルム事業を行っており、顧客に対し、省エネフィルムを推進している。
社員一人一人が環境を考え、ECOドライブの徹底や低燃費の車両の購入など行っております。

旭化成 株式会社



認定番号 242115
住 所 前橋市西大室町1257-3
電話番号 027-268-2321
従業員数 61名
事業内容 発泡樹脂の設計・開発、製造、販売

代表者 代表取締役 梶 徹也
GSマネージャー 小沢 照夫
GSサブマネージャー 成川 浩之

わが社の一押し

当社は発泡スチロールの総合メーカーで、設計・試作～成形～組立までトータルでお役に立てる体制を確立しております。また、弊社の得意技術であるインサート成形品や表面被膜成形品は発泡スチロールの新たな用途を提供するものです。化成製品全般にわたり積極的に提案させていただき、迅速に対応できる弊社に是非お声掛けください。

現場からひとこと

環境GSとともに2007年4月にエコアクション21も前橋本社工場・赤堀工場にて認証取得をしております。また、2008年6月の本社工場移転を機に貫流ボイラーでの熱回収システムを活用した重油使用量の削減、省エネ成形機への入れ替え、太陽光発電事業等の省エネに取組んでおります。今後も、自社製品である環境に優しい発泡スチロールとともに全社一丸で環境活動に努めて参ります。

株式会社ローソン 北関東運営部 群馬支店



認定番号 242126
住 所 高崎市中上居町1608-1
電話番号 027-350-7580
従業員数 21名
事業内容 群馬県内におけるコンビニエンスストア「ローソン」の運営指導

代表者 代表取締役社長 玉塚元一
GSマネージャー 尾田親之
GSサブマネージャー 阿武哲彦

わが社の一押し

「私たちは「みんなと暮らすマチ」を幸せにします。」
ローソンは1975年6月に1号店をオープンしてから、今年で40周年を迎えます。「近くで買い物を済ませたい」という従来からのお客様に加え、2013年より皆様の健康で長寿な暮らしをサポートしたい、との思いからコーポレートスローガンを「マチの健康ステーション」に変更いたしました。
ご近所のお店として地域社会のお役に立ちたいというのが私達の願いです。冒頭の企業理念の実現に向けてお客様に喜ばれる付加価値の高い商品やサービスの開発など提案し続けるとともに、環境保全への取り組みを進めてまいります。

現場からひとこと

弊社群馬支店は、事務所の空調の温度管理、照明の使用制限及び紙(書類)の削減に取り組み、店舗では店内温度の適正管理、LED照明の設置やCO₂冷媒冷機などの省エネ施策を実施するなど、事業活動に伴う温室効果ガスの排出削減を計画的かつ積極的に推進し環境保全に貢献します。今後尚一層の取組をしてまいります。



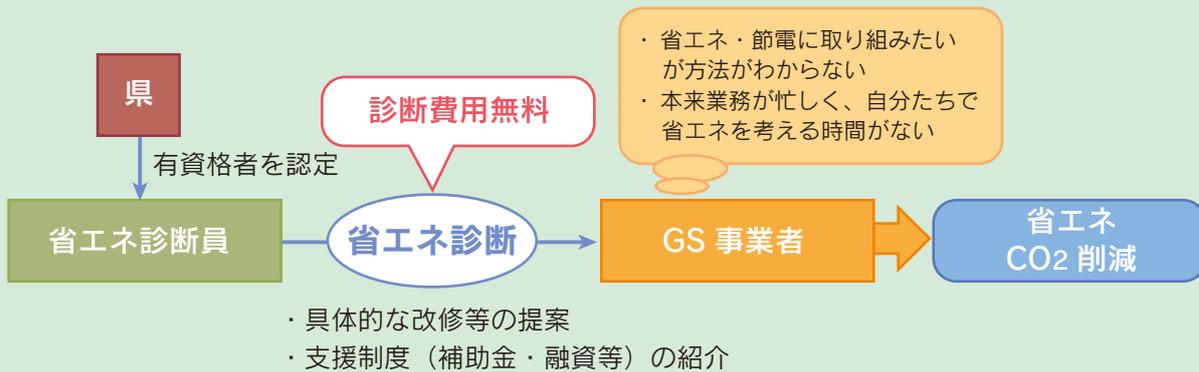
○省エネ診断員の派遣が始まります

募集開始 平成27年9月（予定）

・省エネ診断員の派遣

工場等のエネルギー消費量の削減について、具体的な改修等を提案できる有資格者を「省エネ診断員」として無料で派遣します。ぜひご活用ください。

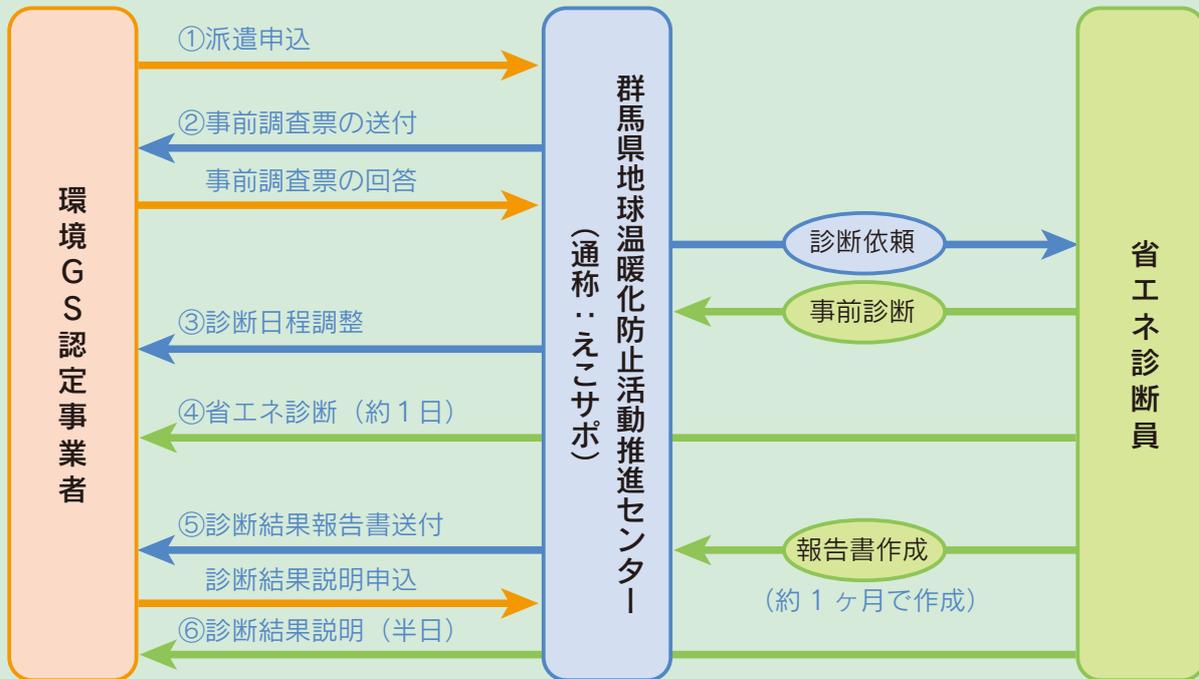
現状と問題点を把握し、改善策に取り組むことで、エネルギーコストの削減や温室効果ガス排出量の削減につながります。



・省エネ診断員によるサポート

- ①事前調査票の作成を、省エネ診断員が訪問して記入方法からサポートします。
- ②省エネ診断の結果について、省エネ診断員が訪問して説明します。

・派遣申込から結果説明までの流れ



編集・発行

群馬県環境エネルギー課 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1
 TEL: 027-226-2817 FAX: 027-243-7702
 群馬県地球温暖化防止活動推進センター 〒371-0016 前橋市城東町2-3-8
 TEL: 027-237-1103 FAX: 027-232-1104



環境に優しい「大豆油インク」を使用しています